

松戸市のスポーツ・文化環境について ③

資料4

【現状の方向性】

- ・大学や企業（プロスポーツチーム）等との地域間連携を充実させる
- ・市民に身近な地域でスポーツ文化を体感してもらう

【目指す姿】

- ・スポーツ文化活動の自発的な参画を通じて「楽しさ」「喜び」を感じる。
- ・地域の持続可能で多様な環境において、多様な体験機会を確保する。

1 日立物流 (陸上部)



株式会社日立物流と松戸市との陸上競技を通じた地域振興・地域貢献の相互連携に関する協定書調印式

- ・日立物流陸上部は2012年から松戸市内（ハケ崎）を拠点に活動
- ・R3年10月に連携協定を締結し、地域振興や地域貢献に資する取組を強化
- ・社会教育課にて小学生を対象にしたかけっこ教室を実施

2 柏レイソル



柏レイソルのホームタウンとして活動

- ・毎年ホームタウンデーには市内クラブチーム子どもや市内小学生等を招待

3 千葉ロッテマリーンズ



R元年度から県内小学校を訪問

- ・市内小学生親子等を公式戦に招待

4 NECグリーンロケッツ東葛



R4年の新リーグ開幕を機に、東葛8市と連携協定を締結

- ・松戸ホストタウンでは、市内在住の小中学生無料招待。

5 松戸ファンフェスタにて、選手によるラグビー体験を実施。今後も連携事業を構築予定。



6 千葉ジェッツふなばし



R4年8月に連携協定を締結

- ・千葉をバスケット王国にするというビジョンのもと連携活動を推進し、本市でも小学生招待を実施（写真は松戸ファンフェスタ様子）

企業及びプロスポーツチームとの連携①～⑥



・流通経済大学と連携し、R4/10/16(日)に、地域共生シンポジウムを開催予定。

・シンポジウムと併せて、NECポッチャ部によるポッチャステージや日本知的障害チアリーディング協会・流通経済大学チアリーディング部によるダンスステージを予定。

大学との連携 ⑬・⑭

スポーツ文化環境の充実 「する」「見る」「知る」「支える」

松戸ファンフェスタ ⑤～⑨

SDGs ⑫

オリパラレガシー ⑦・⑩・⑪・⑬



百瀬定雄氏

・聖徳大学では、教育学部内に、スポーツ教育コースを設置（R4年度にスポーツ健康コースから改名）

・同コースに在籍する百瀬定雄教授は、元オリンピック（長野五輪のボブスレー選手として参加）で、その後は、ボブスレーのコーチやリュージュの監督として、2014ソチ五輪等に参加

・本市のオリパラ施策の推進に向けてアドバイスをいただく。



R4年5月に、内閣府から「SDGs未来都市」・「自治体SDGsモデル事業」の採択を受け、Z世代のアイデアを活かした、常盤平団地エリアのオリ・ブランディングを推進。

- ・エリアの豊かな緑を活かし、ウォーキングコースを設置予定



・BMXプロライダー・佐々木 元選手

・松戸ファンフェスタではBMXパフォーマンスを実施。



・子育て世代（30代・40代無関心層）向けに市ゆかりのスポーツ選手のtwitterで発信



・パラリンピック車いすラグビー日本代表で2大会連続銅メダリストを獲得した羽賀 理之選手と、同じチームに所属する乗松 隆由選手。

・松戸ファンフェスタでは両名を迎えたトークショー&ポッチャ体験を開催。

←松戸ファンフェスタでは、人気の「松戸消防音楽隊」のステージ(上)と、松戸市出身のロックバンド・TENDOJIJ(テンドウジ)のライブも開催